



自然素材で、健康住宅。
縁 *en* 創建工房

CONCEPT

縁 創建工房の家づくり

縁 対話式& 参加型の家づくり



お客様ととことん対話させて頂き、要望&想いをカタチにします。

また「参加型の家づくり」にこだわり「上棟式」では家の屋根へ登って棟を叩いて頂いたり、安全な炭の防蟻剤や漆喰を塗るDIY作業にご参加頂いたり…と建築現場は楽しく和気あいあい。現地へ自分好みの大黒柱を選びに行くことも可能です。こうして大工さんや職人さんと触れ合い、家族で参加してつくり上げる住まいは、完成した時すでに自分だけのオリーブ。梁に印した家族の手形が、その喜びの瞬間を一生の思い出に変えてくれます。



家の基礎に登り、棟を自分達で叩く「上棟式」。
さあいよいよ家づくりが始まります…



梁には大きなパパの手と、
小さな子どもの手形をペタリ

カラダと心に 優しい自然素材

素材

大黒柱はもちろん管柱、筋交いなどは全て、紀州産のヒノキ。そして梁には粘り強い性質がある紀州杉を使用するなど、構造からすべてにおいて国産材を使用。天井に見える力強い梁の木組みは、職人の確かな技と木の香り、そして開放感を感じることができます。羊毛の断熱材・炭の防蟻剤・紙の壁紙・塗料など、使用する素材は全て自然そのもの。長年に渡り自然素材を研究し性能を知り尽くし、その素材の特徴が最大限に発揮される仕上げとなっているため夏はからりと涼しく、冬は暖かい家を実現しています。



玄関の台には
なだらかなカーブと
木目が美しい
天然の一枚板を



天井の梁には、樹齢100年の和歌山県産の松の丸太をそのまま贅沢に

機能美溢れる シンプルデザイン



「今流行りの家」をつくるということは「いずれ流行遅れになる」ということ。

「縁 創建工房」の目指す家は、子の代・孫の代まで住み継ぐことができる「21世紀の民家」。「切妻屋根」や「軒」など昔ながらの工法を用いた家づくりで、光と風を操る先人の知恵をそのまま活かします。また子供達が自室にひきこもることのない「ファミリールーム」など、現在の子育て世代に寄り添う間取りも自慢です。



素足に心地よい天然木の床板が標準仕様で

技術 伝統の技が光る 職人の手仕事



家を造るのは、大工社長だからこそ人脈で集まった腕利きの職人集団。一棟ごとに職人全員が集まる「施工会議」を必ず行い、お客様の家族構成から希望する家のイメージなど想いをすべて共有、橋渡しします。こうして人の手技から生みだされた家は、機械仕事の既製品とは違う独自の温かみが生まれ、家族と共に年月を積み重ね、味わいを増してゆきます。

また1棟ごとに、国家資格を有する第三者機関による「監査」を実施、住宅業界最先端の徹底した品質管理も行なっています。



失われつつある職人たちの技を最大限に活かした家づくり



継ぐ、子・孫の代に受け継ぐ 長寿命の家

高いとあきらめがちな注文住宅。でも本当に高い買い物なのでしょうか?「縁 創建工房」は、ただ安いだけのローコスト住宅とは違う「家の価値」を知って頂きたいと考えています。買う時は安かった家…でも30年後に数百万の修繕費がかかることを考えてみたことがありますか?また何十年間も毎月支払い続けることになる光熱費を計算してみたことがありますか?

2~3世代に渡り住み継ぐことができる長寿命の家。床の無垢材は年月と共に風合いが増し、メンテナンスも自分で出来ます。そして羊毛の断熱材が、夏は涼しく冬は温かな家を実現しているため省エネルギー。実は長い目で見るととてもお得な買い物なのです。

さらに国交省の実施する「長期優良住宅」制度も積極的に取り入れており、規定が非常に厳しい「ゼロエネルギー住宅」の認可を受ける程の高い省エネルギー性を有しています。

また良質な木材を木材加工業者から直接仕入れるなどで、中間コストも徹底的に見直し手に届く価格で子育て世代に優しい家を目指しています。



自分達で大切にメンテナンスし、子そして孫に残せる財産に

自然素材を愛するご夫婦と 作り上げた現代の和風建築。



箕面・彩都の家



リビング階段にもヒノキの無垢材を使用



キッチンには大容量の収納スペース



障子を閉めれば客間にもなる和室

街並にひときわ際立つ、和瓦と木格子が美しい純和風の家。

「和風の木造建築で、子供たちに優しい自然素材をふんだんに使っていて、しかも長期優良住宅で…。『縁 創建工房』の家は私たちが考えていた家づくりのすべてが揃っていました。」と決め手を語ってくれたK様ご夫婦。和室と一緒にになった18畳のリビングは床板に国産ヒノキの無垢材を使用し、和の趣を残しながらも機能的で居心地の良い空間を実現。愛らしい3姉妹がのびのびと過ごせる住まいが誕生しました。

K様邸 間取り図

1階



2階



K様の要望

- 伝統美を感じる和瓦を使った和風の家にしたい。
- 室内に物干しスペースが欲しい。
- リビングは天井を高く、リビング階段にしたい。
- ご主人が独りになれる空間が欲しい。

ゆったりと心が落ち着く 和瓦と木格子の景観美。

POINT 1

外観にはK様の念願だった
和の屋根瓦がピッタリとマッチする木格子と
風情ある通り土間をご提案。
波打つようなアーチが美しい屋根瓦と
深い軒に守られた家は、
見る人の心まで
落ち着かせてくれます。



①日本に古くから伝わる軒や木格子の土間は、見た目の美しさだけでなく夏の強い日差しから家を守り、室内環境の快適性を向上する伝統的な日本建築の知恵。また和瓦は耐火・耐水・耐久性に優れ、夏は涼しく冬暖かい家を実現してくれます。

②玄関前には格子からのひびきが美しい土間スペースを設置。外からの視線を適度に遮ってくれるため、小さなお子様たちの安全な遊び場にもなってくれます。

書斎・物干しスペースなど、 ご夫婦それぞれの想いを実現。



①物干しスペースには広い窓だけでなく、太陽の光がたっぷり降り注ぐ天窓を設置。明るい室内で洗濯物もすぐに乾いてくれます。またキッチンから洗面脱衣所、物干しスペースへの動線はできるだけ短くして家の負担を軽減しました。

②ご主人の書斎は主寝室の奥。2.5畳の秘密基地で静かに独りの時間を過ごせます。

POINT 2

洗面脱衣所の横には
奥様ご希望の物干しスペースを確保。
家事導線を第一に考えた間取りで
家事がスムーズに捲るよう、
奥様と何度も対話させていただきました。
またご主人の書斎は主寝室の奥に配置、
住まい手が快適に過ごせるプランを
ご提案します。

K様にインタビュー

「家づくり寺子屋」に参加されていかがでしたか？

家にかかるお金のことがわかるだけでなく、スタッフの人柄を感じる勉強会だったので
家づくりを安心してお願いできました。

家づくりで楽しかったことは何ですか？

建築現場に遊びに行きやすい雰囲気だったので何度も足を運び、
自分の家がだんだんとできていく過程を見ることができたことです。

実際に暮らしてみていかがですか？

真剣に取り組んだので、「こうしておけばよかった」などの後悔はなく
「いい家を建てたなあ～」としみじみと実感することが多いです。
冬でも結露せずサッシを拭くこともないですし、無垢材は裸足でも足がヒヤッとする事もなく
とても暖かい部屋の塗り壁は湿気がこもらず、消臭効果もすごいですね。



将来は2部屋に振り分けられるように
作った子供部屋



主寝室には薩摩中霧島壁を採用し
落ち着いた色合いに